

令和2年度 中学部の教育目標及びめざす生徒の姿と重点事項

学校教育目標	「子供たち一人一人の夢や希望の実現に向けて」 ～すべては子供たちの幸せのために～ 児童生徒の生命と人権を守り、一人一人の教育的ニーズや特性、能力等に応じたきめ細かな教育を行い、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、「生きる力」をはぐくみ、自立や社会参加に向けて、「明るく、仲良く、元気よく」がんばる子を育成する。
学部教育目標	思春期を迎えた生徒の成長を踏まえ、一人一人の教育的ニーズや特性、能力等に応じたきめ細かな教育を行い、集団の中で自分の力を発揮しながら自ら考えて行動することができる生徒を育成する。

学校がめざす児童生徒像	学部がめざす生徒の姿と重点事項	
心身共に健やかな児童生徒	1 自分の心と体を大事にし、明るく元気に生活する生徒	
	重点事項	(1) 学部・学年単位で生徒一人一人の健康と安全に十分気を配り、生徒のよさや変化、指導上の配慮事項などについて細やかに確認し合う。 (2) 相互に人権意識を高め、生徒によい模範(挨拶・言葉遣い・呼称等)を示すとともに、いじめや不登校、諸問題行動などへの対応を組織的に行う。 (3) 思春期や第二次性徴期の心と体の成長と変化に応じた性に関する指導や健康の維持増進につながる体力づくり運動の取組を計画的、継続的に進める。
発達に応じた知識や技能を身に付けた児童生徒	2 目標に向かって最後まで粘り強く学習に取り組む生徒	
	重点事項	(1) 令和3年度の新学習指導要領の全面実施に向けて、教育課程の確認作業や、年間指導計画の作成を行う。 (2) 第1・3・5週の火曜日の朝の打合せの時間を作業学習班の担当者会とし、個別の指導目標や手立てについて共通理解を図り、指導に当たる。また、評価についても担当者間で相互に確認して指導の改善に生かす。 (3) 校外学習等での活動内容を工夫し外部講師を活用したり、校内資源(養護教諭や栄養教諭等)を活用したりして指導の充実を図る。
様々なことに興味・関心をもち、自らかかわる児童生徒	3 自分で考えて活動することを楽しみ、自ら活動に取り組む生徒	
	重点事項	(1) 「まきようちから(授業の基礎・基本)」のキーワード「う(う〜んと子ども自身が考える)」、「ち(自分でできる環境づくり)」、「か(活動は興味・関心、必然性)」に重点を置き、生徒主導の授業の実現を目指す。 (2) タブレット等のICT機器を使用した効果的な指導方法などについて情報交換を行い、相互のスキルアップとともに教育環境の整備に努める。
家庭や地域で、自分の力やよさを発揮する児童生徒	4 学んだことを生かして、家庭や地域でできることを増やす生徒	
	重点事項	(1) 「まきようちから(授業の基礎・基本)」のキーワード「ら(ライフに活かす)」に重点を置き、保護者と連携して、作品募集等に参加し、指導内容が家庭生活や社会生活に結び付くように指導の更なる充実を図る。 (2) 日々の学校生活や学習の場面、「あいさつ運動」等を通して、挨拶や返事、言葉遣い等の指導を充実させ、身につけた力を家庭や地域などの生活場面で発揮できるようにする。